

主題：天の王国の実際の中に生きる

メッセージ 9

王国の民の内側が何であるかは、  
彼らに対するキリストのはぐくむ九重の祝福において啓示される  
聖書：マタイ 5:1-12

I. 「霊の中で貧しい人たちは幸いである。天の王国は彼らのものだからである」——マタイ 5:3 :

- A. 霊の中で貧しいとは、へりくだっているだけでなく、わたしたちの霊の中、わたしたちの深い所で空にされており、旧経綸の古いものにしがみつかず、新しい事柄、天の王国の事柄を受け入れるよう、荷が下ろされていることです——参照、ルカ 6:20。
- B. わたしたちは、人の霊の中で貧しく、空にされ、荷が下ろされている必要があります。それは天の王国を認識し、所有するためです——参照、マタイ 19:13-15. ルカ 18:17。
- C. わたしたちが霊の中で貧しいなら、天の王国はわたしたちのものです。わたしたちは今や召会時代において王国の実際の中におり、王国時代において王国の実現にあずかります。
- D. 霊の中で貧しいとは、わたしたちがへりくだって、自分は何も持っていない、何も知らない、何もすることができない、何ものでもないと認めることを意味します——ガラテヤ 6:3. ヨハネ 15:5 後半. イザヤ 57:15. 66:1-2 :
1. 霊の中で貧しい人たちは、主の事のために、また召会の事のために自発的な霊を持っています——詩 51:12。
  2. 霊の中で貧しい人たちは、喜びの霊、知恵と理解の霊、熟慮と大能の霊、知識とエホバに対する畏敬の霊を経験します——ヘブル 1:9. ローマ 14:17. イザヤ 11:2-3。
- E. すべての霊的な進歩は、人の飢えに、すなわち、わたしたちが霊の中で空であることにかかっています——ルカ 1:53. 参照、詩 81:10 :
1. わたしたちは、自己の安心、自己満足、過去の事への満足を恐れるべきです——リピ 3:13。
  2. 霊的な停滞は、その人自身の霊的欠乏に対する無関心の結果です。すべての失敗と衰退は、自己満足の結果です——参照、申 4:25。
    - a. もしわたしたちが霊的な前進を持つことを願うなら、わたしたちの現在の霊的な状態に不満を感じなければなりません。またわたしたちはより良いものに対する要求を持たなければなりません。ここから霊的な前進が始まります。
    - b. すべての失敗や衰退は、わたしたちがすでに十分に良いと推測することです。自己満足がわたしたちの失敗の始まりです。
    - c. 衰退は自己満足から始まりますが、前進は飢え渴きから始まります。わたしたちのすべての困難は聖霊によって定められています。それはわたしたちが再び彼に対する必要を感じ、彼に対する真の飢え渴きを持つためです。

3. 過去の勝利は、現在の力になることは決してありません——参照、ヨシュア 7:3-4。
- a. わたしたちは、主についての新しい知識と彼の新しいビジョンがなければ、前進することができません——参照、使徒 26:16. ペリピ 3:8 後半, 10 前半。
  - b. わたしたちが、「わたしにはそれができません」と叫んでいる自分を見いだす時はいつでも、わたしたちの進歩が始まっています。ですから、神は容易にわたしたちの中で、ご自身のために願いを造ることができます
  - c. わたしたちは、神がわたしたちに困難を与えることを覚えているべきです。それは、神がわたしたちの中でさらに深く掘って、さらにご自身でわたしたちを満たすことができるためです——参照、ローマ 8:28-29。
4. これは主がわたしたちに示す規則です。霊的な前進は絶えず空にされ絶えず満たされる事柄です——列王下 4:1-6。
- a. 戸が閉じられた家で油は注がれるべきです。これによってあなた自身は聖霊とだけ内側で交渉することができます——4 節. マタイ 6:6。
  - b. 油が止められた理由は、彼らにはもはや空の器がなかったからです——列王下 4:6。
    - (1) もしわたしたちに無限の空虚があるなら、聖霊は無限の満たしをわたしたちに分与するでしょう。わたしたちが聖霊によって祝福されるかどうかは、わたしたちが空の器を持っているかどうか、わたしたちが聖霊のために余地を取ってあるかどうか、わたしたちが聖霊にわたしたちの中で働いていただく場所を提供しているかどうかにかかっています。
    - (2) ですから、わたしたちは祈り、主にわたしたちの中をさらに深く掘っていただくように求め、わたしたちの中でさらに多くの空虚さを造り出していただくべきです。それによって聖霊はわたしたちを満たすことができます。
  - c. わたしたちの空にすることは継続的である必要があります。もしわたしたちが自分自身を空にすることができないなら、神はわたしたちを満たすことはできません。ですから、わたしたちは満たすことを追い求める必要はなく、むしろ自分自身を空にすべきです。なぜなら、満たすことは完全に聖霊の責任であり、空にすることはわたしたちの責任であるからです。

**II. 「泣き悲しんでいる人たちは幸いである。彼らは慰められるからである」——マタイ 5:4 :**

- A. この世のすべての状況は、神のエコノミーに対して消極的です。神は、わたしたちがこのような事態を悲しむことを望んでいます。
- B. わたしたちが神と彼のエコノミーにしたがって悲しむなら、天の王国という褒賞を受けることによって慰められます。わたしたちは、神の天的な支配が、すべての否定的な状態を管理するのを見るでしょう。

**III. 「柔和な人たちは幸いである。彼らは地を受け継ぐからである」——マタイ 5:5 :**

- A. 柔和であるとは、この世の反対に抵抗せず、進んでそれを受けることを意味します。
- B. わたしたちが柔和であり、この時代に世の反対を喜んで受けるなら、来たるべき時代に地を受け継ぎます——ヘブル 2:5-8. ルカ 19:17, 19。

IV. 「義に飢え渴いている人たちは幸いである。彼らは満ち足りるからである」——マタイ 5:6

- A. この卓越した義は、わたしたちから生かし出されるキリストご自身です——ピリピ 3:9。
- B. わたしたちはこの義に飢え渴いて、そのような義を追い求める必要があります。そうすれば神は、わたしたちが追い求める義を与え、わたしたちは満ち足りて、天の王国に入ることができます——マタイ 5:10, 20. 6:33。

V. 「あわれみ深い人たちは幸いである。彼らはあわれみを受けるからである」——マタイ 5:7:

- A. 義であるとは、人が受けるに値するものを、その人に与えることですが、あわれみ深いとは、その人が受けるに値しないものを与えることです——。
- B. わたしたちが人にあわれみ深いなら、主はわたしたちにあわれみを賜ります (II テモテ 1:16, 18)。それは特に裁きの座においてです (ヤコブ 2:12-13)。

VI. 「心の純粋な人たちは幸いである。彼らは神を見るからである」——マタイ 5:8:

- A. 純粋な心を持つとは、わたしたちの心が単一であり、主ご自身以外に何も求めないことを意味します。それは、キリストが妨げなく、わたしたちの中で成長するためです。
- B. 心が純粋であることは、目的が単一であること、神のみこころを成し遂げて神に栄光を帰すという単一な目標を持つことです—— I コリント 10:31。
- C. わたしたちが神を追い求めることで心が純粋であるなら、わたしたちの褒賞は神を見ることです。
1. 神を見ることは神を得ることに等しいです。それは、わたしたちが神格においてではなく、命と性質において神となるためです—— II コリント 3:18。
  2. わたしたちは神を見れば見るほど、ますます自分を忌み嫌います——ヨブ 42:5-6。
  3. わたしたちが主を見るなら、この世の事物が屑であることを見るでしょう——ピリピ 3:7-8. 参照, エレミヤ 15:19。
  4. 霊的な進歩は、わたしたちの中で神の要素が増し加わること、そして神の地位を奪うわたしたちの内側の物事が減少することです—— I テモテ 4:15. コロサイ 2:19:
    - a. 一つの物事、一つの出来事、一人の人がわたしたちを占有する限り、わたしたちの心の中には神の地位を奪っているものがあります——参照, II テモテ 3:2, 4. マルコ 12:30. 箴 4:23。
    - b. わたしたちは純粋でなければなりません。わたしたちの心は、神以外の何によっても占有されるべきではありません——マタイ 13:19-23。
    - c. わたしたちの霊的な進歩は、どの程度わたしたちの心が神に向けられているかにかかっています——マタイ 4:17. II コリント 3:16. 参照, 列王下 23:25。
    - d. 人は神の言葉の中にあればあるほど、ますます純粋になります——詩 12:6. 119:140. ヨハネ 17:17。

VII. 「平和をつくる人たちは幸いである。彼らは神の子と呼ばれるからである」——マタイ 5:9:

- A. 反逆者サタンは、すべての反逆の扇動者です。わたしたちは天の王国のために、天の支配の下で、人々の間で平和をつくる者でなければなりません——ヘブル 12:14。
- B. わたしたちの御父は平安（平和）の神です（ローマ 15:33. 16:20）。わたしたちは彼の平和の命の中で、彼の平和な性質にしたがって歩かなければなりません。このようにして、わたしたちは彼の命と性質を表現し、神の子と呼ばれます。
- VIII. 「義のために迫害されている人たちは幸いである。天の王国は彼らのものだからである」——マタイ 5:10 :
- A. 全世界は悪しき者の中に横たわっており（I ヨハネ 5:19）、不義で満たされています。わたしたちが義に飢え渴くなら、義のために迫害されるでしょう。
- B. 天の王国のゆえに、わたしたちは求めている義のために代価を払う必要があります。
- IX. 「人々がわたしのゆえにあなたがたをそしり、迫害し、偽りを語って、あなたがたに対してあらゆる邪悪なことを言うとき、あなたがたは幸いである。喜び歓喜なさい。天におけるあなたがたの褒賞は大きいからである。人々はこのように、あなたがたの前にいた預言者たちをも迫害したからである」——マタイ 5:11-12 :
- A. 王国の霊的性質の中で、王国の天的原則にしたがって生活する時、わたしたちはそしられ、迫害され、邪悪なことを言われます。それは大部分、伝統的な宗教観念に固執している宗教的な人たちによってです——使徒 5:41. 13:45, 50. II コリント 6:8. ローマ 3:8。
- B. この迫害は、わたしたちがキリスト、新しい王に従っているからです——参照、使徒 13:50-52。
- C. 人に辱められたが、神に尊ばれたイエスという御名、その御名のために辱められることは、真の誉れです。このゆえに、辱められた者たちは、御名のために辱められるにふさわしい者とされたことを喜びました—— 5:41。